

親株無加温で8月下旬から出荷できる鉢物リンドウ「花研鉢2」

【1 花研鉢2の特徴】

岩手県の既存品種「ももこりん」では必要だった採穂用親株の加温管理をしなくても、8月下旬～9月に出荷(北上市付近)できることが最大の特徴の鉢物用リンドウ品種です。

花色は、くっきりとした桃色です。また弱い光の下でも気温が17℃程度あれば花が開くため、室内等で楽しめます。

草姿が立性で花数が40程度となることから、「鉢物仕立て」での生産が基本となります。

摘心した茎から側枝は7～8本程度発生し、茎径は2mm程度とやや細めです。



表

花研鉢2の特性(農業研究センター)

	開花期 (月・半旬)	花段数 (段)	総花数	花卉外面 の着色 ³⁾	花卉の 斑点 ⁴⁾	花の大きさ(cm)	
						長さ	直径
花研鉢2 ¹⁾	8-6	3.6	42.8	微	中	5.3	1.5
ももこりん ²⁾	9-3		34.0	少	中		

茎の着色 ⁵⁾	茎径 (mm)	側枝の数 ⁶⁾ (本)	草姿	草丈 (cm)	節数	葉の大きさ(cm)	
						葉長	葉幅
多	1.9	7.5	立性	15.2	10.4	2.8	1.4
少		3.4	半立性	10.4	6.6		

1) 親株の加温無し

2) 親株の加温を1/21より開始

3) アントシアニンによる着色程度を甚>多>中>少>微の5段階で評価

4) ~5) 多>中>少の3段階で評価

6) 摘心した茎から伸びた枝

【2 留意事項】

- 栽培は挿し木苗利用とし、挿し木は「天挿し」とします(挿し木方法は県既存品種「こりん」に準ずる)。
- 摘心を2回にすることにより、ボリュームが確保されます。
- 茎が弱めで、開花時に花蕾等の重みで開張ぎみの草姿となるため、出荷時にリングを付ける等の必要があります。
- 葉枯病の発生は、県既存品種「ももこりん」と比較して、同等～やや少ないです。

【3 効果】

普及見込みとして年間10,000鉢の生産が期待されます。

【4 適応対象】

県下全域の花き生産農家等